

授業科目名	人間教育学ゼミナール（応用）(2100310)		
時間割名	人間教育学ゼミナール（応用）(45112)		
時間割担当	松井典夫		
実施期	通年	単位数	4 選択
曜日・時限	木・5		

授業の目標・概要

卒業研究に向けて論文や制作活動を行う。自らの専門分野についての研究をまとめ、形にすることによって、自らの人間教育学に関する学びの集大成とする。

学習の到達目標

学校教育に関する知識・理解 教師の資質・能力について 教育の現代的課題について
以上の三点についての理解と認識を深め、研究した成果をまとめることを目標とする。

授業方法・形式

それぞれの学習テーマに対して、論文や参考図書の購読、実地調査などを行いながら授業を進めていく。
それぞれが取り上げるテーマに関するディスカッション等を行いながら学習を深めていく。
また、研究会などに参加し、実地的に学ぶ機会を持つ。

授業計画

第1回～第7回

それぞれが設定したテーマの資料収集を行い、ディスカッションを行いながらプロットを確定していく。

第8回～第15回

必要な資料収集及び学校現場への視察等を行いながら、まとめ作業を行っていく。

第16回～第23回

収集した資料をもとに、研究テーマのまとめを完成させる。

第24回～第30回

完成したまとめを、学内発表等を通じて共有し、実践的な力へと結びつけていく。

成績評価の基準

授業中に行う活動や小レポート評価し、授業に対する関心・意欲・態度や理解度を評価する（40％）

課題レポートにおいて、課題探究の深さ、緻密さ、斬新さなどを評価する（30％）

学期末レポートにおいては総合的な理解を確認する（30％）

授業時間外の課題

授業時に、次回以降の学習テーマについて、予習する内容を具体的に伝える。必要に応じて提出も課する。復習についても同様。

メッセージ

教材・教科書

参考書

各自のテーマに応じたものを、授業内で指示する。